

第2回（10月） 会議録（主な意見）

○大人をどう、社会教育を通じて学び直しの機会を提供して育てていくか、これも人づくりなのではないかと思う。自発的な学習者として地域を担ってってくれるような大人をどう育てるかということとともに、そうした大人自身がつながりをもってそのつながりを力にすることが大切である。

○地域創生の担い手として公民館があるということをしっかり、受け止めておかなければならない。そのためには、地域課題解決のための学びを発展させる。さらには地域が豊かになる地域創生ということにつないでいく。公民館にはそういう役割がある。誰でもがちょっと立ち寄ってみたいくなる魅力のある公民館を作らなければならない。自己向上の願いがかなう学びを大切にする公民館、人づくり・地域づくりに貢献できるリーダーが育つ公民館、人の温かさとか心配りがにじみ地域の絆を実感できる公民館、地域の皆さんと一緒に汗をかきそんな公民館にしていかなければならないと思っている。

○社会教育について「こんな古いものよくわからない。」、生涯学習について「それはやりたい人がやればいいのではないか。」「趣味のようなものではないか。」というような言葉を聞くことがある。そういったイメージを変えていかなければならない。社会教育はやはり、ひとやもの、ことを含めた社会と関わりある教育である。社会とつながる教育であるということをしっかり地域の皆さんに訴えていかなければならない。

○SDGs をどう地域の中で活かしていくのか。そのことを今しっかり考えていかなければならない。2030年が国連の目標であり、それに向けて地域で17の目標を全部できないのだから、その地域にマッチしたSDGsの課題を自分たちで考えながらやっていかなければならない。

○子どもの頃から興味、関心をもたせ、地域で学び続けることでより多く地域のことを知り、地域に愛着と誇りをもてる子どもを育てたいと思い伝承・文化に取り組んでいる。人づくりとして、学びを発表する機会を設け、学びを広げることが大切になっている。また、子どもたちが大人になって、社会教育に関わり取組の主体となるよう、成長に合わせ関わりができるようにしたいと思っている。地域活動クラブ、児童センター、子ども会、青年団、PTA、公民館、民生委員、温泉組合、高齢者など、地域の各種団体と横と縦を意識して子どもたちと関わることを大切になっている。各団体との情報交換の場があることがつながりをつくっていく強みとなっている。

○取組を継続するために、新たな学びを生むことや次の活動につなげること、アイデアを企画することを大切にしたいと思う。そのためにもアイデアを企画できる人材の育成ができるとういと考えている。

○親たちが社会に出る第一歩として、友達づくり、人との関わりづくりという面で保護者は、人とつながる場として重要な場であると思う。

○生涯学習施設（公民館含む）の案内の冊子を作り、QRコード付きのポスターにして配布を予定している。それによって、若い方も少し興味をもって見てくれるのかなという気がする。このパンフレットにより、自分に合った活動というのを発見、再発見してもらうことも目的の一つとしており、学びとか人材育成の入口としてこのパンフレットが役立ってくれればいいと思っている。

○子どもたちが地域に目を向けるような活動と保護者が自分の子だけではなくよそのお子さんも一緒につながりをつくって親同士もつながってそのお子さんもつながるというような活動を、いろいろ企画できたらと取り組んでいる。

○地域のゲストティチャーやコーディネーターなど育成したいと思うが、現実、人づくりが難しい状況である。65歳は当然仕事しており、70歳まで仕事をされている方がいる。そのような人を地域の人材として引き込むことが大変厳しい。